

雪の結晶を保存しよう

■ 材料

アクリル専用接着剤、アクリルの小片、ガラス板



■ 実験の準備（レプリカ液をつくる）

- 1 アクリル専用接着剤(30ml)にアクリルの小片 1 g を入れる。
- 2 よく振って溶かす。
- 3 出来たレプリカ液と、ガラス板を外に置いて、冷やしておく。

■ 実験の方法

- 1 レプリカ液を数滴ガラス板にたらす。
- 2 降ってきた雪をいくつかガラス板で受ける。
- 3 雪が落ちてこないところで、ガラス板を2～3時間放置し、接着剤の成分を蒸発させる。
- 4 雪の結晶を観察してみよう。
虫眼鏡（ルーペ）などでじっくり観察してみよう。



■ 発展

気温や湿度が変わると、雪の結晶の形はどのようになるだろう。内陸と海岸では雪の結晶の形に違いがあるだろうか。

■ 情報

「雪は天から送られた手紙である。」これは、雪の研究で有名な中谷宇吉郎先生の言葉です。雪の結晶は上空の湿度と温度で形が変わります。つまり、雪をくわしく調べると、雪が降ってきた場所の空の様子を知ることができます。

アクリル専用接着剤、アクリルは、ホームセンターで購入できます。ガラスが無い場合は、OHPシート（ポリエステルシート）でも代用できます。

